

柳瀬川流域河川整備計画（変更原案）

説明資料

令和 4 年 3 月 29 日

1.流域及び河川の概要

- ・ 柳瀬川流域の概要

2.河川整備の現状と課題

- ・ 洪水による災害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3.河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水による災害の発生の防止又は軽減

4.パブリックコメントの実施結果

5.今後の進め方

1.流域及び河川の概要

- ・ 柳瀬川流域の概要

2.河川整備の現状と課題

- ・ 洪水による災害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3.河川整備計画の目標及び実施に関する事項

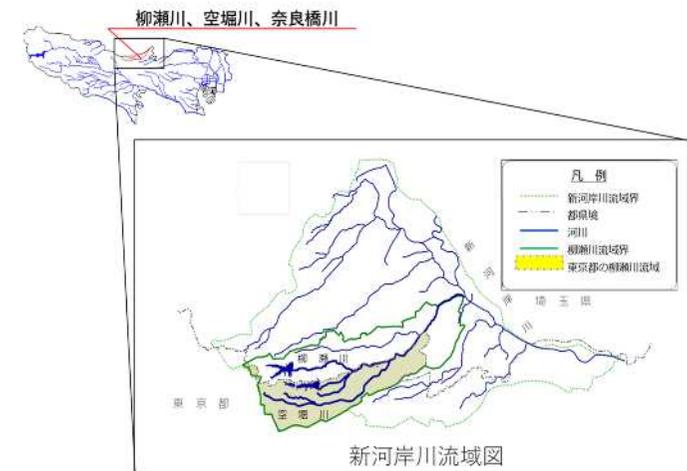
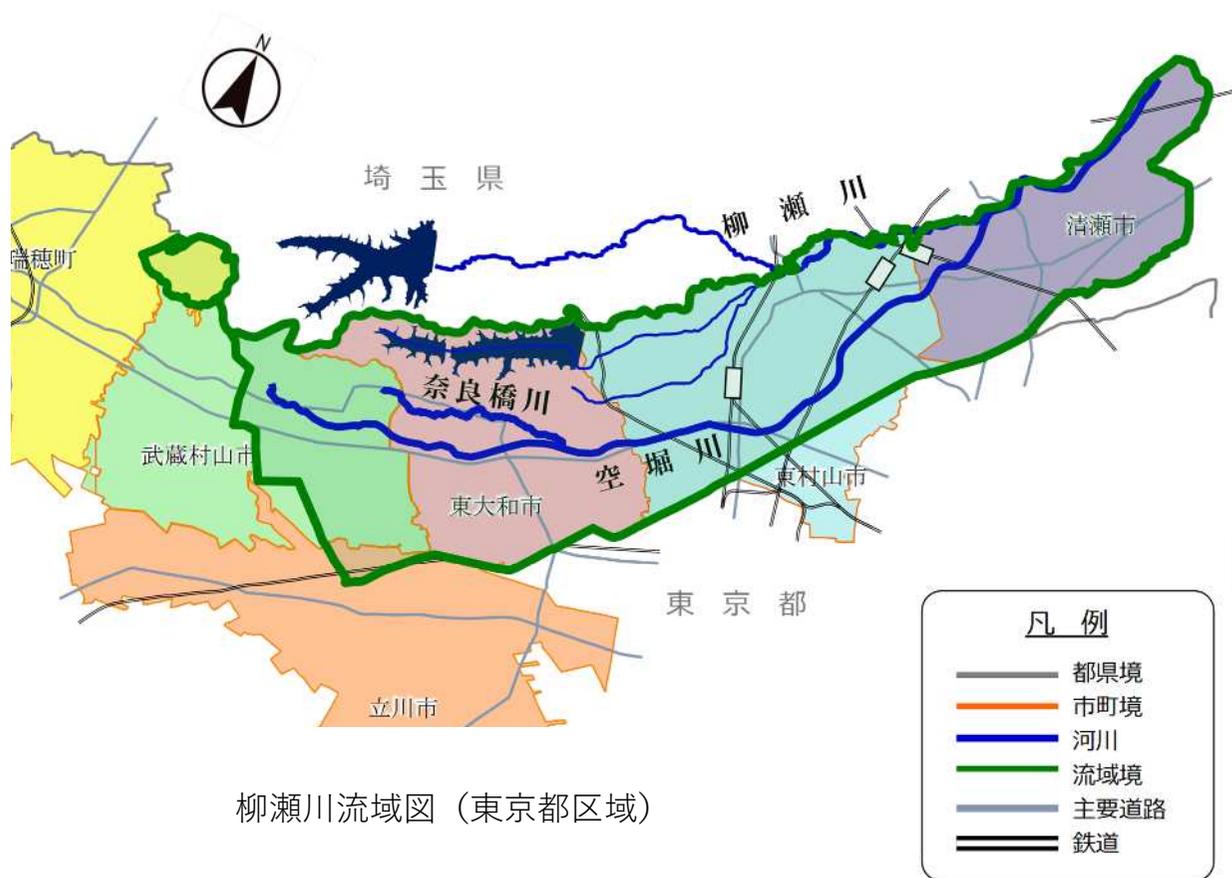
- ・ 洪水による災害の発生の防止又は軽減

4.パブリックコメントの実施結果

5.今後の進め方

流域及び河川の概要

- 東京都の北部に位置
- 所沢市内に源を発し、埼玉県を経て都に入り都県を輻輳し空堀川、東川を合わせ新河岸川に注ぐ荒川水系の一級河川
- 昭和59年8月、都県で協定を締結し河川整備を分担して実施
- 流域内には畑、雑木林等の都心部にはない里地、里山の風景が多く残されている
- 鳥類、昆虫類、魚類等、多種多様な動植物が確認されている



	流域面積 (km ²)	法定延長 (km)
柳瀬川	95.5 (うち東京都45.2)	19.6 (うち東京都8.2)
空堀川	26.8	15
奈良橋川	2.7	2.9

1.流域及び河川の概要

- ・ 柳瀬川流域の概要

2.河川整備の現状と課題

- ・ 洪水による災害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3.河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水による災害の発生の防止又は軽減

4.パブリックコメントの実施結果

5.今後の進め方

●近年では、平成28年台風9号、令和元年台風19号等の豪雨による浸水被害が発生

<柳瀬川流域の主要水害記録>

年月日	水害名	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)	時間最大 雨量 (mm/h)
S57.9.12	台風18号	柳瀬川：4.2 空堀川：22.1 奈良橋川：0.7	柳瀬川：148 空堀川：376 奈良橋川：37	43
S60.7.20-21	集中豪雨	空堀川：12.8	空堀川：221	54
H2.11.30	台風28号	空堀川：5.8	空堀川：90	31
H4.7.15	集中豪雨	空堀川：0.2 奈良橋川：3.0	空堀川：10 奈良橋川：97	38
H11.8.14	集中豪雨	柳瀬川：0.1 空堀川：1.7 奈良橋川：0.3	柳瀬川：5 空堀川：63 奈良橋川：14	41
H22.6.29	集中豪雨	柳瀬川：2.0 空堀川：14.0	柳瀬川：5 空堀川：63	57
H28.8.21	台風9号	柳瀬川：9.9 空堀川：34.0 奈良橋川：7.7	柳瀬川：39 空堀川：40 奈良橋川：5	54
R1.10.12	台風19号	柳瀬川：0.1 奈良橋川：0.1	柳瀬川：7 奈良橋川：1	49



平成28年台風21号（柳瀬川：秋津橋）



平成28年台風21号（奈良橋川：村山橋）

- 柳瀬川下流部では、中間地点の金山調節池を整備し、上流側の河道を整備
- 柳瀬川上流部では、県施行区間が整備完了後に都施行区間に着手（未整備）
- 空堀川では9割程度の護岸整備が行われ、下流部より河床掘削を実施中
- 奈良橋川では下流より護岸整備を実施中

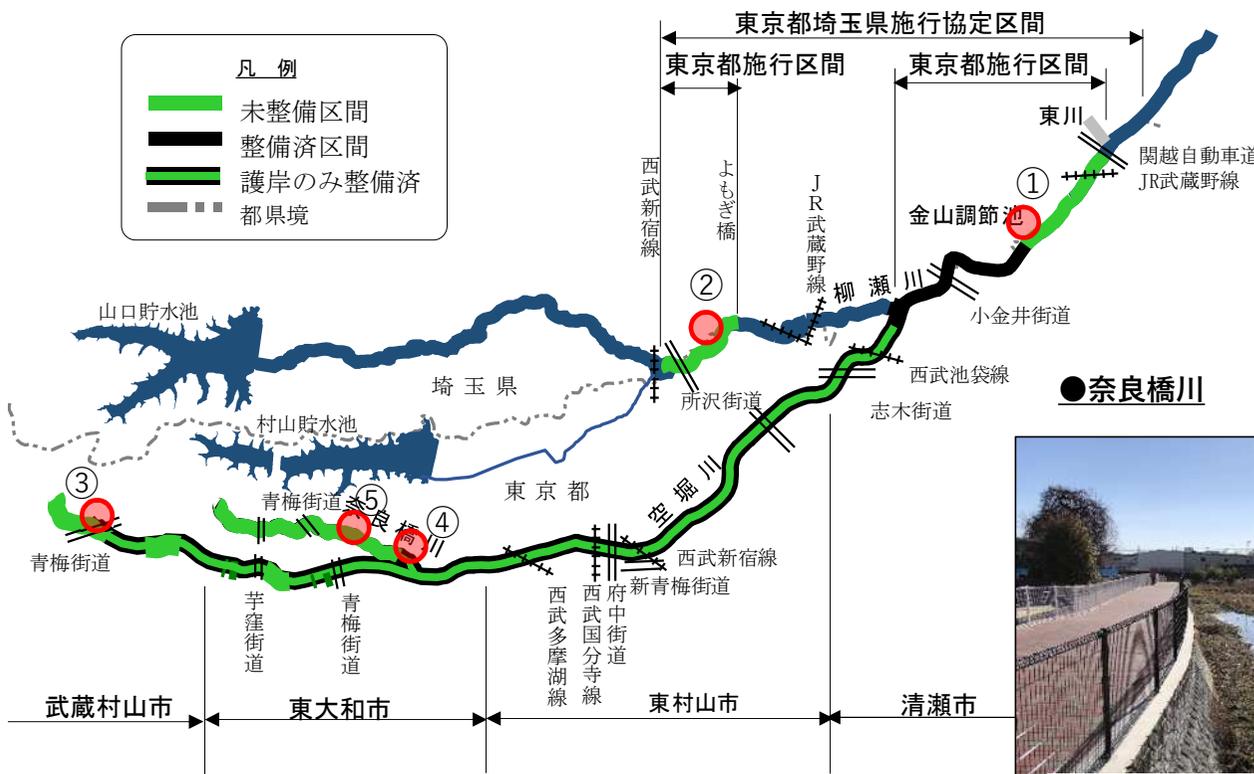
●柳瀬川



●空堀川



●奈良橋川



柳瀬川、空堀川及び奈良橋川の整備状況

1.流域及び河川の概要

- ・ 柳瀬川流域の概要

2.河川整備の現状と課題

- ・ 洪水による災害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3.河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水による災害の発生の防止又は軽減

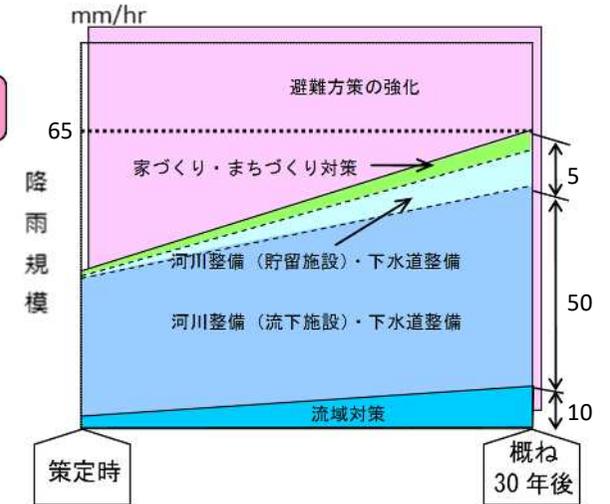
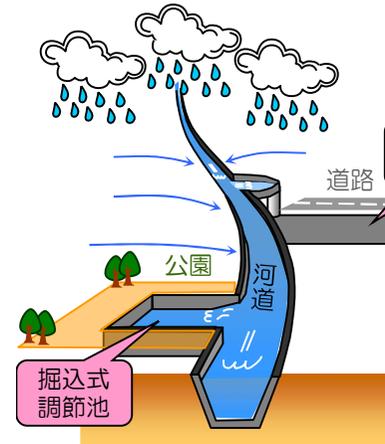
4.パブリックコメントの実施結果

5.今後の進め方

河川整備の実施 -洪水による災害の発生の防止又は軽減-

●中小河川における都の整備方針（平成24年7月）

- 河川、流域毎の特性を考慮
- 目標整備水準を現在の時間50mmから年超過確率1/20（多摩部では時間65mm）に引き上げ
- 50mmを超える部分は、流域対策を考慮して調節池による対応を基本
- 対策の実現により、狩野川台風規模の豪雨や時間100mmの局地的かつ短時間の集中豪雨に対して河川からの溢水を防止



●豪雨対策基本方針（改定）（平成26年6月）

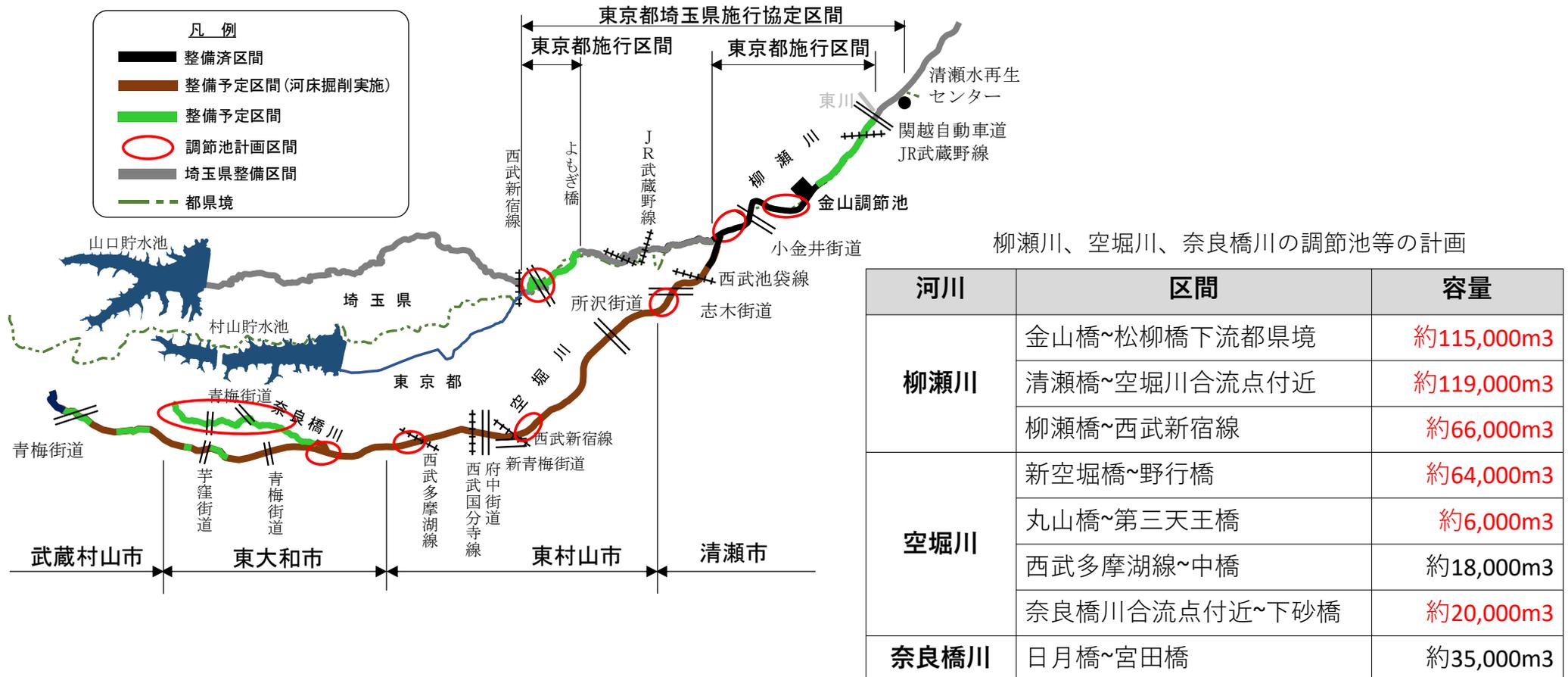
- 降雨特性を考慮した目標降雨（年超過確率1/20）
- 甚大な浸水被害が発生、優先的に整備を実施する流域として「対策強化流域」の位置づけ
- 流域別の豪雨対策計画を策定



近年の浸水被害を踏まえ、令和3年4月、豪雨対策基本方針における**対策強化流域**に柳瀬川流域を**位置づけ**

河川整備の実施 -洪水による災害の発生の防止又は軽減-

- 平成24年11月に示した「中小河川における都の整備方針~今後の治水対策~」に基づき、年超過確率 1/20（時間当たり65mm規模）の降雨に対応する治水対策を進める
- 時間あたり50mm規模の降雨による計画高水流量に対応できる護岸整備に加え、洪水を貯める調節施設等の整備を実施
- 実施にあたっては現況河川の状況や関連計画等との整合を図る



今後、施設数や設置場所等の施設計画及び運用について検討、調整していく。

河川整備の実施

-洪水による災害の発生防止又は軽減-

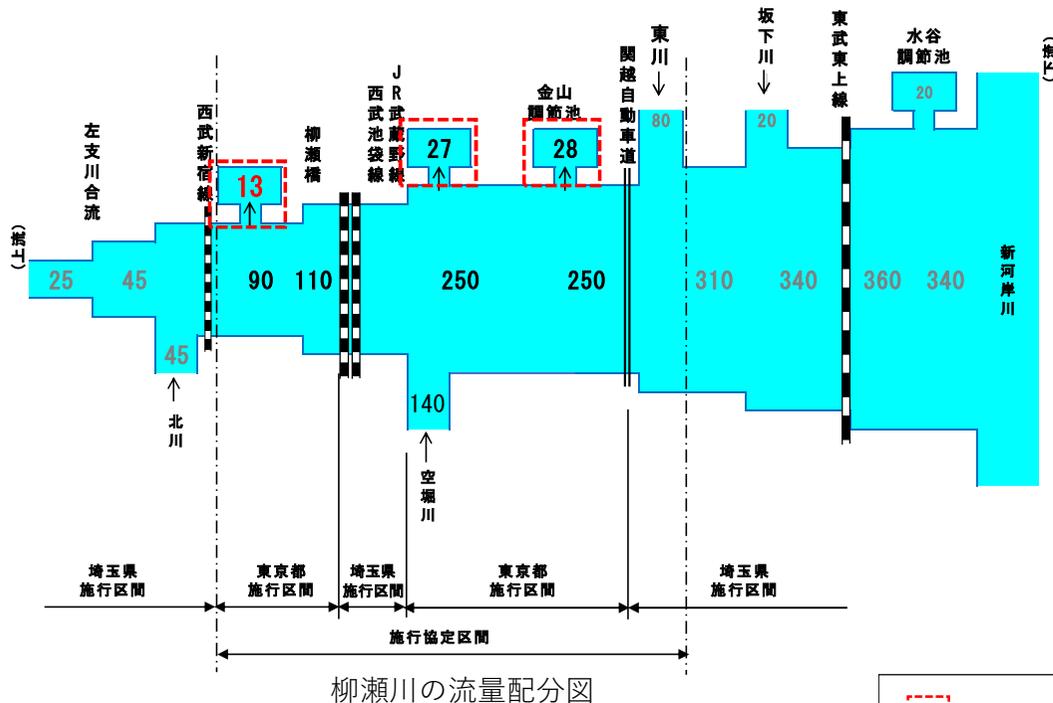
●既定計画に位置づけられた内容

- ・ 時間当たり50mm規模に対応した河道断面、勾配を確保

●変更のポイント

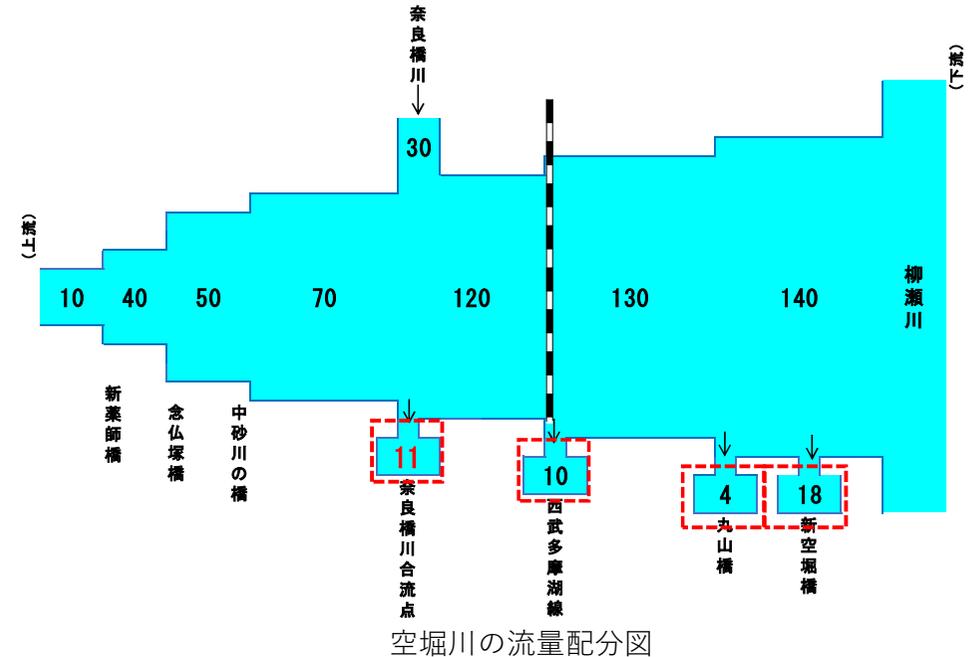
○柳瀬川

- ・ 都施行区間において治水対策実施
- ・ 県と受渡流量を合わせることで整合を図る
- ・ 新たに調節池を3区間で位置づけ



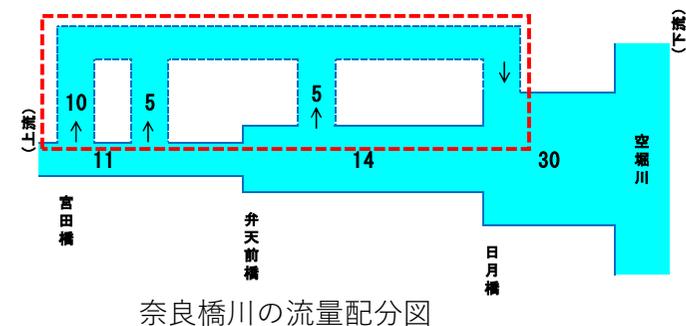
○空堀川

- ・ 現況河川の状態や関連計画等との整合
- ・ 新たに調節池を4区間で位置づけ



○奈良橋川

- ・ 分水路を整備し、浸水被害の早期解消を図る



河川整備の実施 -洪水による災害の発生防止又は軽減-

●修正点について

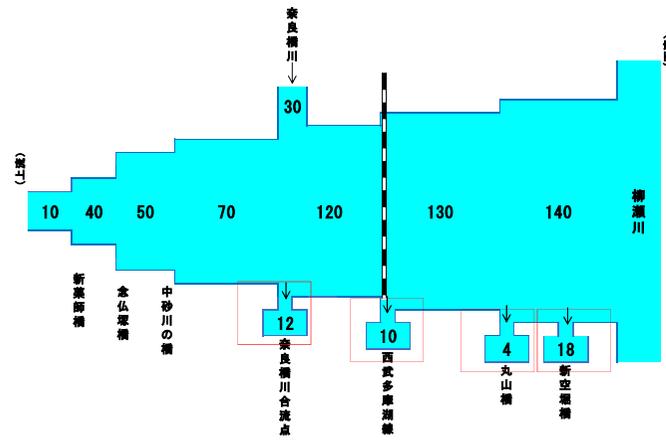
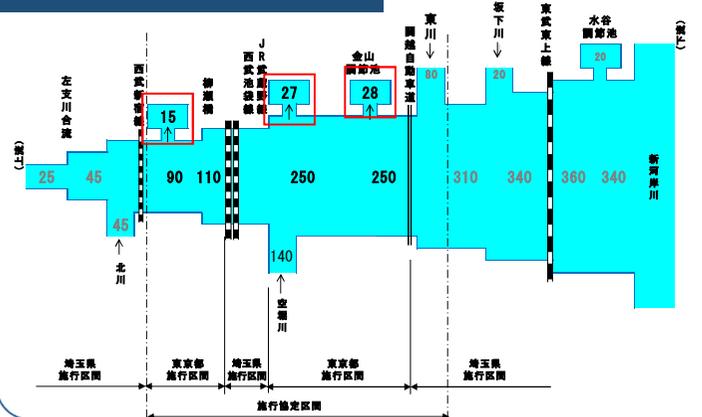
- 年超過確率1/20とする降雨量の設定について、24時間最大276.5mm（年超過確率1/20）とするところ、降雨強度式にて算出をしていたため、調節池容量を修正する

柳瀬川

空堀川

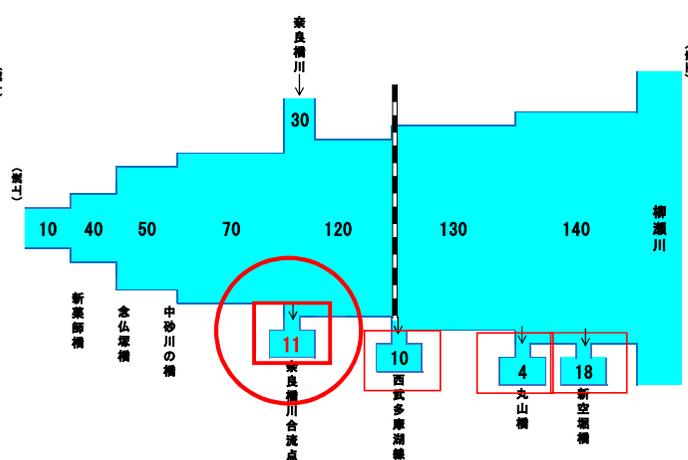
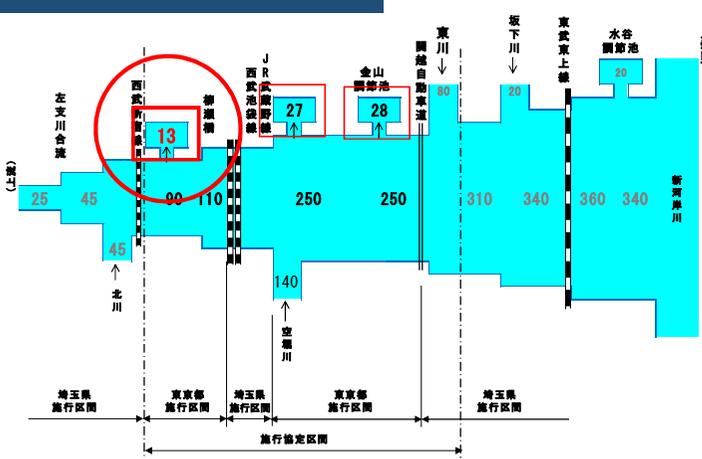
貯留量

公表している原案



河川	区間	容量
柳瀬川	金山橋~松柳橋下流都県境	約123,000m ³
	清瀬橋~空堀川合流点付近	約123,000m ³
	柳瀬橋~西武新宿線	約84,000m ³
空堀川	新空堀橋~野行橋	約66,000m ³
	丸山橋~第三天王橋	約7,000m ³
	西武多摩湖線~中橋	約18,000m ³
	奈良橋川合流点付近~下砂橋	約23,000m ³
奈良橋川	日月橋~宮田橋	約35,000m ³

修正点

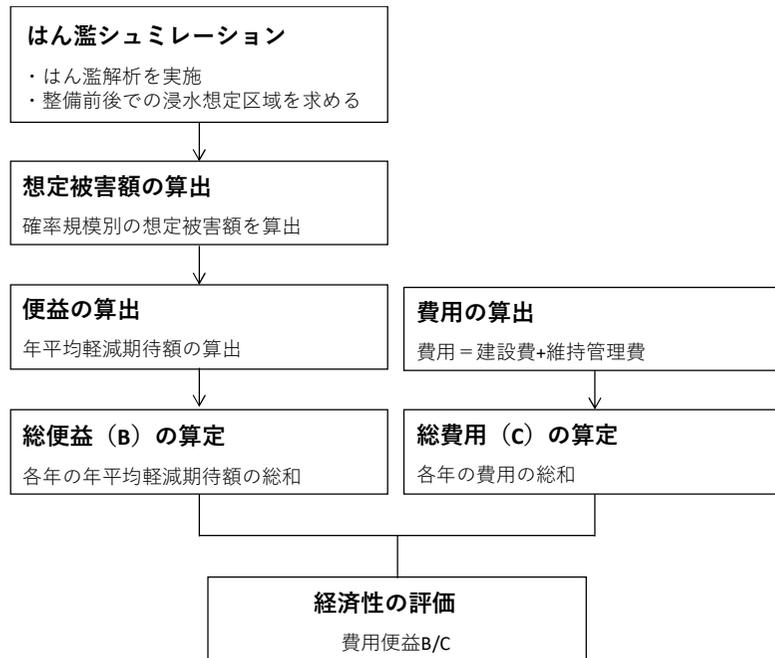


河川	区間	容量
柳瀬川	金山橋~松柳橋下流都県境	約115,000m ³
	清瀬橋~空堀川合流点付近	約119,000m ³
	柳瀬橋~西武新宿線	約66,000m ³
空堀川	新空堀橋~野行橋	約64,000m ³
	丸山橋~第三天王橋	約6,000m ³
	西武多摩湖線~中橋	約18,000m ³
	奈良橋川合流点付近~下砂橋	約20,000m ³
奈良橋川	日月橋~宮田橋	約35,000m ³

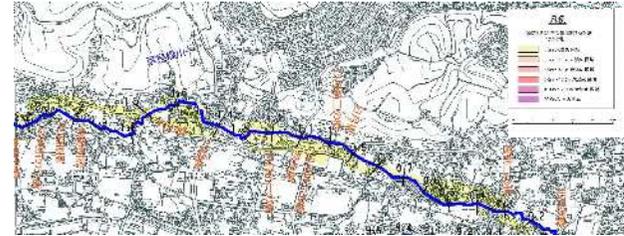
(参考) 事業効果について

●算定方法

- 治水経済調査マニュアル（令和2年4月 国土交通省 水管理・国土保全局）に基づき算出を行う。
- 洪水氾濫による直接的・間接的な被害のうち現段階で経済的に評価可能な被害の防止効果を便益（B）として評価している。
- 事業費（C）は治水事業を実施する費用及び施設の維持管理に要する費用を算定する。
- 便益及び費用は評価時点を基準時点とし、整備期間+施設完成後約50年間を評価対象期間として算出



●試算と結果



基準時点での被害状況



評価期間終了時点での被害状況

はん濫シミュレーション結果（イメージ）

	便益 (B)	費用 (C)	B/C
柳瀬川 空堀川 奈良橋川	53,392	52,035	1.03



事業化に当たっては、精度の向上に努め事業効果を考慮して整備を実施していく

1.流域及び河川の概要

- ・ 柳瀬川流域の概要

2.河川整備の現状と課題

- ・ 洪水による災害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3.河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水による災害の発生の防止又は軽減

4.パブリックコメントの実施結果

5.今後の進め方

パブリックコメントの実施結果

< 意見聴取の実施概要 >

- 実施期間 : 令和4年2月16日～3月17日 (4週間)
- 実施方法 : 原案の公表、リーフレットの配布
- 実施場所 : 都庁河川部、都・建設事務所 (2箇所)、流域市町 (6市町)、都HP
※都・市町広報への掲載、HP・Twitter・Facebookでの情報提供により周知

< 提出意見 (総括) >

- 洪水対策に関する事 13件
- 河川の維持・利用に関する事 12件
- 河川環境に関する事 10件
- その他 8件

合計43件

パブリックコメントの実施結果

寄せられた主な意見と回答（抜粋）

主な意見	回答（案）
◆洪水対策に関すること	
<p>計画降雨の決定に際して、気候変動を考慮しているのか。していないのであれば、考慮すべきではないのか。</p>	<p>計画降雨の決定に際しては、「中小河川における都の整備方針」で示している年超過確率1/20規模の降雨としております。気候変動など自然状況や社会状況の変化等に対しては、計画対象期間内であっても必要に応じて改定していきます。</p>
<p>柳瀬川のよもぎ橋下流の埼玉県区間はいつ整備が行われるのか。埼玉県区間が整備されない限り、よもぎ橋上流の東京都施工区間は整備しないのか。</p>	<p>河道整備については、原則、下流から上流に向かい整備を進めており、よもぎ橋下流の埼玉県施行区間については、早期整備の要望・協議を行ってまいります。</p> <p>よもぎ橋上流の東京都施行区間については、早期に安全性を向上させるため、先行して調節池を整備する等の検討を行ってまいります。</p> <p>調節池以外の対策としてまちづくりと連携した流域対策も重要です。各市や市民と連携して雨水流出抑制施設の整備等、総合的な治水対策を推進していきます。</p>
◆河川環境に関すること	
<p>柳瀬川の沿川は天然河岸や河畔林が残っているなど自然環境が豊かであり、加えて、桜並木が美しいエリアがある一方で、住宅地等を流れる区間もあるなど、都内の他河川とは異なる多様な特徴を有している。このため、これらに最大限に配慮し、また、地域住民の意見を最大限に尊重しながら、柳瀬川の特性を踏まえた魅力的な河川整備を進めて頂きたい。</p>	<p>整備にあたっては、良好な河川環境の保全や再生が図れる川づくりに努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は、河川整備に関する貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>

1.流域及び河川の概要

- ・ 柳瀬川流域の概要

2.河川整備の現状と課題

- ・ 洪水による災害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3.河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水による災害の発生の防止又は軽減

4.パブリックコメントの実施結果

5.今後の進め方

●修正点を踏まえた今後の動き

- 意見聴取結果の反映、修正点を踏まえ関係機関と再度協議を実施
- 協議を進めながら、案を作成していく

パブリックコメント

原案提示

2月16～3月17日

専門家委員会

原案と修正点を提示（3月29日）

降雨量の修正に伴い、調節池容量の修正点の説明・意見聴取

関係機関協議

修正点を踏まえた協議実施

意見聴取結果による反映及び修正案について協議

案作成

案の作成

協議を実施し、案の作成

認可・公表

案→整備計画